

**製品名: Snk ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18056**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	78kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PLK2
別名	PLK2; SNK; Serine/threonine-protein kinase PLK2; Polo-like kinase 2; PLK-2; hPlk2; Serine/threonine-protein kinase SNK; hSNK; Serum-inducible kinase
遺伝子 ID	10769.0
SwissProt ID	Q9NYY3
免疫原	抗血清はヒト PLK2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 291-340

**背景**

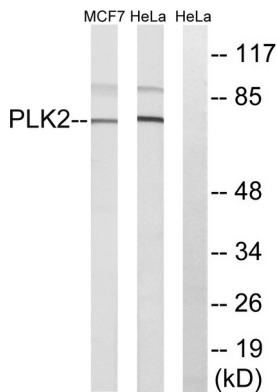
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、正常な細胞分裂に関与するセリン/スレオニンプロテインキナーゼのポロファミリー

に属します。この遺伝子は、精巣、脾臓、胎児組織で最も多く発現しており、その発現は血清によって誘導されることから、急速な細胞分裂を行っている細胞においても重要な役割を果たす可能性が示唆されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションがみつかっています。[RefSeq 提供、2011年11月]、触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。機能: 線維芽細胞など、少なくとも一部の細胞型の分裂に関与し、胚発生、創傷治癒、または腫瘍形成に機能する可能性があります。類似性: プロテインキナーゼスーパーファミリーに属します。類似性: プロテインキナーゼスーパーファミリーに属します。Ser/Thr プロテインキナーゼファミリー。CDC5/Polo サブファミリー。類似性: 1 つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。類似性: 2 つの POLO ボックスドメインを含みます。、

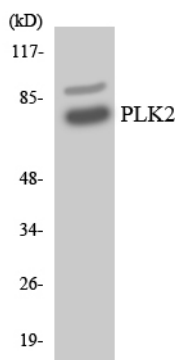
## 研究分野

シグナル伝達; タンパク質リン酸化; Ser/Thr キナーゼ; その他のキナーゼ

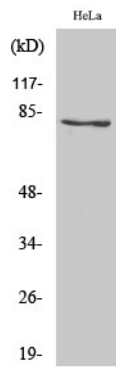
## 画像データ



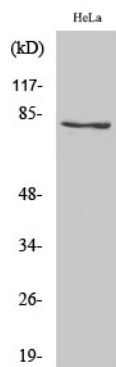
PLK2 抗体を用いた HeLa 細胞および MCF-7 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



PLK2 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



Snk ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



Snk ポリクローナル抗体を用いた MCF7 細胞のウェスタンブロット解析